

2023年2月13日  
第3505号 for Residents

週刊(毎週月曜日発行)  
発行=株式会社医学書院  
〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23  
TEL (03) 3817-5694 FAX (03) 3815-7850  
E-mail: shinbun@igaku-shoin.co.jp  
ICOPY 出版者著作権管理機構 委託出版物

# New Medical World Weekly 週刊医学界新聞

医学書院 www.igaku-shoin.co.jp

## 今週号の主な内容

- [シリーズ]この先生に会いたい!! (北野夕佳, 増田奈保子)..... 1-2面
- [寄稿]英語臨床教育の刷新をめざして(星哲哉)..... 3面
- [連載]ER診療の勘どころ..... 4面
- [連載]心不全マネジメント..... 5面
- MEDICAL LIBRARY/[視点]学習面の不安に寄り添う支援で全ての小児入院患者に学びの場を! (光山瑞穂)..... 6-7面

救急外来の対応をする救急医, ICU/HCUの患者管理を行う総合内科医, ベッドサイドでの研修医教育, 教科書の執筆活動やセミナー等の講演活動に取り組む臨床教育者, 学会運営の中枢を担うリーダー, そして3人の子どもを持つ母親と, さまざまな顔を併せ持つ北野夕佳氏。多方面で結果を出し続けるバイタリティの源は何か。救急医をめざす医学部5年生の増田奈保子氏がインタビューを行った。

**増田** 私は高校1年生の時に inochi Gakusei Innovators' Program (註1)に参加し, AEDの使用率向上をめざすアイデアづくりを通じて救急医療の面白さに魅了され, “沼って” しまいました。その後医学部に進学し, 今度は同プログラムの運営側の代表を務めたり, 医療現場以外の目線を体験するために企業や行政でのインターンシップ活動をしたり, エビデンス構築の世界を学ぶために研究・論文執筆をしたりと, いろいろな活動を行ってきました。そうした学生生活を送る中, さまざまなメディアで北野先生の姿を拝見し, その生き方にとっても共感をしたことから, ぜひお話を伺いたいと思って, 今日を楽しみにしていました。

### 職業選びは靴選びと一緒 まずは何事もトライして判断を

**増田** 北野先生は現在, 救急医, そして総合内科医としてご活躍されています。まずは救急領域を選ばれた理由を教えてください。

聞き手  
**増田 奈保子** 氏  
大阪大学医学部医学科5年生

高校1年生の時に参加した inochi Gakusei Innovators' Programで救急医療の面白さに気付く。医学部に入学してからは, 医療系学生団体「inochi WAKAZO Project」の代表や企業・行政でのインターンシップ, 研究・論文執筆などを通じてヘルスケア課題の解決に挑む日々を送る。将来の夢は「日常と医療の接面をもっと滑らかにすることで, 日常の幸せを守ること」。

## シリーズ この先生に会いたい!! 北野夕佳氏に聞く 「好き」を大事にして本能と直感に従う

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院救命救急センター 副センター長/  
聖マリアンナ医科大学救急医学 准教授

**北野** 卒後1~4年目の研修医として京大病院や大阪赤十字病院に在籍時, 1人で担当していた救急当直や夜間急変対応の日々が原点かな。胸が苦しい, お腹が痛い, 気分が悪いなど, さまざまな症状を訴える患者さんを救急外来で診たり, 血圧が下がったなどの夜間急変に対応したりしていました。けれども, 経験が浅い当時の私に全てを判断できるほどの診療スキルは備わっていません。私が患者さんを診て各診療科に相談していたのですが, 「うちの診療科じゃない」と言われてしまって, 結局診てくれる人がいない。孤独, 不安で泣きそうなど苦しい時がありました。その中で専門領域を越えて一緒に患者さんを診てくれる数少ない指導医が神々しく見えたのです。そうした経験から, 「どんな患者さんでも診られる医師になりたい」という思いを持ち, 救急医をめざし始めました。

**増田** その後米国留学を経て, 総合内科医としての道に進まれたのですか。どのような経緯があったのですか。

**北野** 実は「大学院へ行って学位を取る」という一般的な医師が歩むルートにも乗ろうと思って, 基礎研究の世界に4年間身を置いたこともありました。一方で, 研究が臨床か天秤にかけた時に, 患者さんのベッドサイドで「大丈夫ですか, 痛くないですか?」「夜, しっかり寝れてました?」と声を掛けたり, 病態を考えて治療計画を立てたりしているほうが好きなんだと気が付いたのです。もちろん現在の臨床にもつながる知識を得られたために基礎研究をしていた時期を後悔はしていませんし, 研究の手を抜いていたわけでもありません。あと3年ほど研究をすれば良い論文が執筆できるだろうというくらいの成果も出ていました。

**増田** あと3年……。

**北野** そう。臨床からすでに4年間離れた上で, さらに3年です。周りの研究者のほとんどから, 「この成果を棒に振って学位を取らないのはおかしい!」と言われました。しかし私にとってこの3年間は, 臨床経験を取り戻すための大きなブランクになりかねないと思った。だから4年間でスッと辞めて, 長年の夢であった米国への臨床留学に向けて準備を始めました。

**増田** 思い切った決断だったのですね。先生はこれまでの人生で数多くの決断をなされてきたと思いますが, それらは何に基づいて決めているのでしょうか。この点はずっと気になっていました。

**北野** 「好き」を大事にして本能と直感に従っただけ。人生は1回きりしかからないから, 失敗したとしても前に倒れようという気持ちです。何事も若い時期に本気で2,3年取り組んだほうが, 本当に自分が好きなのかどうかの判断がつくはず。最近思うのは, 職業選びは靴選びと一緒だということです。いくらウインドーショッピングをしても駄目。実際に履いてみることで, 「この靴はかっこいいけど, 痛いし合わないかも」「少しダサいけど歩きやすいからこの靴が好き」といった感覚がつかめてくる。決断時に気を付けることは1点だけです。失敗してもリカバーできる範囲でチャレンジすること。これさえ忘れなければ何事もトライしてみるべきでしょう。

### 仕事と家庭を両立するため 「親業」と「家事業」を分ける

**増田** 先生のバイタリティには尊敬の念を抱いています。どうしてそんなに



●きたの・ゆか氏  
1996年京大卒。同大病院で1年間, 大阪赤十字病院で3年間, 内科各科, 麻酔科, 診断放射線科, 救急部を含むローテート研修に励む。大阪赤十字病院ではチーフレジデントを務めた。その後, 2000年から京大大学院にて月田承一郎氏に師事し, 分子生物学に関連した基礎研究を行う。04年に渡米, 翌年 ECFMG certificate を取得。米ヴァージニア・メイソン医療センターで内科レジデンシーを修了し, 米国内科専門医 (ABIM) を取得した。09年に帰国後, 東大病院高度救命救急センター助教に就任。11年聖マリアンナ医大救急医学助教, 講師を経て, 20年より現職。勤務中の様子は過去にテレビ番組「ヒポクラテスの誓い」(BS-TBS)でも取り上げられている (https://bit.ly/3GSzIv)。また, 臨床業務とは別に「救急ポケットレファレンス」の監訳や雑誌「Hospitalist」の編集 (いずれも MEDSi), 動画シリーズ「目で学ぶフィジカルアセスメント大全」, 院内感染管理教育動画コンテンツの作成・統括監修にも取り組む。野口グランドラウンド統括リーダー。米国内科学会日本支部年次総会・講演会 2023 会長。日本総合内科専門医, 日本救急医学会指導医, 日本集中治療学会専門医・評議員, 日本プライマリ・ケア連合学会指導医, 米国内科学会上級会員 (FACP)。

頑張れるのでしょうか。  
**北野** 頑張っているとはそれほど思っていないですよ。  
**増田** えっ! そうなんですか?  
**北野** 頑張っている時もありますが, うまくメリハリを付けるようにしています。

(2面につづく)

February 2023 新刊のご案内 医学書院

●本紙で紹介の和書のご注文・お問い合わせは, お近くの医書専門店または医学書院販売・PR部へ ☎03-3817-5650  
●医学書院ホームページ (https://www.igaku-shoin.co.jp) もご覧ください。

<p><b>標準整形外科学 (第15版)</b> 監修 井藤栄二, 津村 弘 編集 田中 栄, 高木理彰, 松田秀一 B5 頁1112 定価: 10,450円[本体9,500+税10%] [ISBN978-4-260-04936-8]</p>	<p><b>医療者のスライドデザイン プレゼンテーションを進化させる, デザインの教科書</b> 小林 啓 B5変型 頁200 定価: 3,740円[本体3,400+税10%] [ISBN978-4-260-04773-9]</p>	<p><b>言語聴覚士のための基礎知識 耳鼻咽喉科学 (第3版)</b> 編集 田山二朗 B5 頁320 定価: 4,400円[本体4,000+税10%] [ISBN978-4-260-05046-3]</p>	<p><b>誤嚥予防, 食事のための ポジショニングPOTTプログラム [Web動画付]</b> 編集 迫田綾子, 北出貴則, 竹市美加 B5 頁192 定価: 2,750円[本体2,500+税10%] [ISBN978-4-260-04322-9]</p>
<p><b>解剖学カラーアトラス (第9版)</b> 原著 Rohen JW, Yokochi C, Lutjen-Drecoll E 著 J.W.Rohen, 横地千帆, E.Lutjen-Drecoll A4 頁632 定価: 13,200円[本体12,000+税10%] [ISBN978-4-260-05048-7]</p>	<p><b>(視能学エキスパート) 視能訓練学 (第2版)</b> シリーズ監修 公益社団法人日本視能訓練士協会 編集 若山曉美, 長谷部佳世子, 松本富美子, 保沢こずえ, 梅田千賀子 B5 頁452 定価: 16,500円[本体15,000+税10%] [ISBN978-4-260-05040-1]</p>	<p><b>黒田裕子の看護研究 Step by Step (第6版)</b> 黒田裕子 B5 頁412 定価: 2,970円[本体2,700+税10%] [ISBN978-4-260-05265-8]</p>	<p><b>&lt;看護管理まなびラボBOOKS&gt; 看護師・医師を育てる 経験学習支援 認知的徒弟制による6ステップアプローチ</b> 松尾 隆, 薬部卓郎 A5 頁136 定価: 2,750円[本体2,500+税10%] [ISBN978-4-260-05122-4]</p>
<p><b>標準臨床検査医学 (第5版)</b> 監修 高木 康 編集 山田俊幸, 大西宏明 B5 頁448 定価: 7,480円[本体6,800+税10%] [ISBN978-4-260-04967-2]</p>	<p><b>(視能学エキスパート) 光学・眼鏡 (第2版)</b> シリーズ監修 公益社団法人日本視能訓練士協会 編集 松本富美子, 大沼一彦, 石井祐子, 玉置明野 B5 頁424 定価: 16,500円[本体15,000+税10%] [ISBN978-4-260-05044-9]</p>	<p><b>APA論文作成マニュアル (第3版)</b> 原著 American Psychological Association 著 アメリカ心理学会 (APA) 訳 前田樹海, 江藤裕之 B5 頁472 定価: 4,620円[本体4,200+税10%] [ISBN978-4-260-04812-5]</p>	<p><b>13の実践レシピで解説! 看護を教える人が 発問と応答のスキルを磨く本</b> 内藤知佐子, 高橋聖子, 高橋平徳 A5 頁144 定価: 2,640円[本体2,400+税10%] [ISBN978-4-260-05112-5]</p>
<p><b>がん化学療法 レジメン管理マニュアル (第4版)</b> 監修 濱 敏弘 B6変型 頁936 定価: 4,950円[本体4,500+税10%] [ISBN978-4-260-05028-9]</p>	<p><b>運動学×解剖学×エコー 関節機能障害を「治す!」理学療法のトリセツ</b> 編集 工藤慎太郎 B5 頁224 定価: 5,280円[本体4,800+税10%] [ISBN978-4-260-04621-3]</p>	<p><b>看護診断ハンドブック (第12版)</b> 原著 Carpenito LJ 監訳 黒江ゆり子 A5 頁944 定価: 4,400円[本体4,000+税10%] [ISBN978-4-260-05021-0]</p>	<p><b>弱さの倫理学 不完全な存在である私たちについて</b> 宮坂道夫 A5 頁248 定価: 2,420円[本体2,200+税10%] [ISBN978-4-260-05114-9]</p>
	<p><b>周術期の臨床判断を磨く I (第2版) 手術侵襲と生体反応から導く看護</b> 鎌倉やよい, 深田順子 B5 頁228 定価: 3,300円[本体3,000+税10%] [ISBN978-4-260-05077-7]</p>		

interview シリーズ この先生に会いたい!! 北野夕佳氏に聞く

(1面よりつづく)

増田 私は、さまざまな活動を同時並行して行うのが苦手で、1つの物事に集中してしまうと、その他が疎かになりやすくなってしまいます。先生はご自身のリソースをどう分配されているのですか。

北野 例えば、仕事と家庭を両立していくため、ある程度手を抜いてもよい掃除・洗濯・皿洗いといった「家事業」と、子どもの成長に直接影響するような「親業」に、家での役割を分けています。学校で起こった出来事の話や、一緒に料理したり、公園に行ったりするといった「親業」は、どれだけ忙しかったとしても、子どものためにサボりません。

増田 でも、ただでさえ臨床業務が多忙なのに、家庭と両立しながら頑張り続けていると、疲れたり、くじけてしまったりする時期も出てくるのではないのでしょうか。

北野 もちろんあります。その時は、私が研修していた当時ではめずらしく2人のお子さんを育てながらキャリアも積み上げておられた、大先輩の那須芳先生からいただいた2つの言葉を思い出そうとしています。

増田 そのエピソードを詳しくお聞きしたいです。

北野 昔、子どもが小さい時期に「全然働いていません。泣きそうになります」と年賀状に書いて送ったら、「1年間でどれだけ仕事をするかではなく、一生でどれだけ仕事をするかです。頑張りなさい」と返ってきました。また別の年の年賀状で育児に関する愚痴をこぼしたら、「子育てはやり直しが利きませんから最優先事項です」との返信があり、妙に納得をしました。

増田 要所要所で人生の指針となる言



●左から増田奈保子氏、北野夕佳氏

葉をいただいていたのですね。北野 これらの言葉は今でも私の支えです。そして、家庭との両立を見据えた時にもう1つ重要となるのが、熱意の感じられる仕事を選ぶこと。「絶対に役に立っている」と思えるほどのやりがいのある仕事をしていれば、「遅い時間に帰る日が多くてごめん。でも、自信を持って良い仕事をしているから」と、子どもに対しても正直に話せるはず。優先すべき事柄が複数現れた時には、参考にしてみてください。

多くの医療者の教育に携わりながらキャリアを終えたい

増田 先生を語る上で欠かせないのは「5分間ティーチング」(註2)です。YouTubeでも紹介されているその様子は、実際にベッドサイドで指導していただいているような感覚で、非常に勉強になりました。その他にも、学会を挙げたレクチャー動画の総監修、医学書の監訳や雑誌の編集など、教育活動に情熱をかけられている印象を受けています。教育に関心を持ったのはなぜですか。

北野 大阪赤十字病院でチーフレジデントを務めていた頃の体験がきっかけです。自分一人での勉強ではなかなか定着しないとと思っていた事柄が、人に教えることで身につくことを実感できました。また教育活動が、自身の方針決定が何を根拠に行われたかを説明できるという「安心感」にも代わることに、米国でのレジデント経験を通じて気が付けたのは大きな転換点と言えます。

増田 教育活動が安心感にもつながるというのは興味深いですね。

北野 ただ、現在の教育にかけられる想いは、その当時に比べると少し変化してきています。「2:6:2の法則」を聞いたことはありますか? どのような組織・集団であっても、構成比率が「優秀な働きを見せる人」が2割、「普通の働きをする人」が6割、「貢献度の低い人」が2割という法則です。今までは上位2割をさらに伸ばそうという考えの下で教育に携わってきたのですが、最近では中間層である6割の人の臨床力を底上げすることに意義があるのだと価値観が変わってきました。つまり、「土日でも勉強。休みなんかありません!」という職人気質の少数精鋭が一層頑張るよりも、「院内で勤務している時間はとりあえず頑張ろう」という「そこそこやる気のある人」の臨床力を伸ばして、持続可能な診療体制を構築すべきだと。そのほうがスタッフたちも働きやすい上、診療できる患者さんの絶対数も増えるはず。60歳で定年退職を考えると考えると残り約10年。院内のスタッフだけでなく、より多くの医療者の教育に携わりながらキャリアを終えたいですね。

増田 確かにそのほうが長期的に良い影響をもたらせそうです。何か具体的な取り組みは考えられているのですか。北野 まずは私が所属する米国内科学会(ACP)日本支部のメンバーで教育的なレクチャー動画を作成し、会員が閲覧できるようにすることをすでに決定しました。というのも、施設ごとに指導医が資料を毎回準備してレクチャーする現状はどう考えても非効率であり、なおかつ一臨床医としてプレーヤーを務めながらレクチャー資料

を作成するのは、はっきり言って無理だからです。質を担保し標準化したレクチャー動画を作成することで、各施設の指導医たちには「得られた知識をベッドサイドでどう活用するか」といった実践的な教育に注力してもらいたいというのが願いです。

増田 おっしゃる通りですね。雑誌や書籍の編集を担っているのも同様の狙いを持った取り組みなのですか。

北野 ええ。私は、ヘンリー・フォードの言葉である「Nothing is particularly hard if you divide it into small parts」(何事も細かく分けてしまえばうまくいく)という言葉大切にしています。すなわち「臨床が得意な北野先生だからできることだよ」というような「匠」の技ではなく、「誰でも当たり前」にできるよ」というレベルまで現場での思考を言語化し、再現可能な単位まで細分化して教えたい。こうした一連の活動によって、日本全国の医療レベルを少しでも向上させられればうれしいですね。

\*

増田 最後に、本記事を読む医学生や研修医の方に向けてメッセージをいただけますか。

北野 人生は1回きりなので、まずは目の前のやりたいことに全力でぶつかってほしいですね。特に学生の間は人生の中でも貴重な自由時間です。医学だけにとらわれずに幅広い経験を積んでください。そうすれば何か見えてくるものが必ずあるはず。自分の本能に正直に生きてみましょう。2023年6月にはACP日本支部の年次総会が開催されます。学生は参加費無料です。ぜひ参加してみてください。(了)

註1: 中高生と大学生がチームを組み、ヘルスケア課題を解決するプランを競い合うコンペ。関西で始まり、日本各地や海外へも活動を展開している。毎年秋には各分野から専門家を審査員に招き、検討・実行してきた解決策についてプレゼンを行う。コンペ後も取り組みを続け、社会実装に至る事例も出てきた。註2: 救急外来症例およびICU/HCU入院症例を、実際にベッドサイドで対応しながら教えること。この際、指導医の思考を言語化し、パターンごとの「型」にして研修医に伝えることで、経験の浅い研修医であっても、次に同じ症状の患者が来た時には適切な処置ができるようになることをめざす。ティーチングの様子は右記のQRコード参照。



●写真 今の職場の仲間と(後列右が北野氏)

2023年間購読申込受付中! 患者全体を見すえた内科診療のスタンダードを創る Hospitalist Vol.10-No.1 2022 特集: 身体診察 動画・音声視聴可 好評 未来につながる、一生モノの身体診察学習をあなたに ●責任編集: 北野夕佳 聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院 救命救急センター 藤谷茂樹 聖マリアンナ医科大学 救急医学/東京ベイ・浦安市川医療センター ●1部定価5,060円(本体4,600円+税10%) ●ISBN978-4-8157-2021-6 ●年間購読料19,360円(本体17,600円+税10%) ※毎月お手元に直送します。(送料無料) ※1部ずつお買い求めいただくのに比べ、約4%の割引となります。

「身体診察」関連新刊 新刊 ベイツ診察法 第3版 ●日本語版監修: 有岡宏子・井部俊子・山内豊明 ●定価12,100円(本体11,000円+税10%) ●ISBN978-4-8157-3056-7 新刊 ドゥガーウィン 診断のための診察と検査 ●監訳: 上田剛士 ●定価9,900円(本体9,000円+税10%) ●ISBN978-4-8157-3060-4

インタビューを終えて 「生き方のロールモデルが見つかった」という感覚でした。メディア等で拝見していた時から北野先生には何か似たものを感じていましたが、お話しする中でも共感するポイントが多々あり、「この先生の生き方を追いかけて!」と思いました。私自身、さまざまな活動をする中で迷うことや苦しむことも多いものの、わが道を進む勇気と元気をいただき、感謝の気持ちでいっぱい。まだまだ人生は長いですが、「好き」を大事にして本能と直感に従い、「日常と医療の接面をもっと滑らかにすることで、日常の幸せを守ること」に貢献していきたいと思。貴重な機会をいただき、本当にありがとうございました。(増田奈保子)

アクセプトの鍵は、ロジックと記憶に残るストーリーにある トップジャーナルへの掲載を叶える ケースレポート執筆法 向川原充 金城光代 執筆法 執筆法 執筆法 アクセプトの鍵は、ロジックと記憶に残るストーリーにある